

平成 28 年度 JIHFS 第 7 回定期総会・記念講演会のご報告

平成 28 年 6 月 27 日(月)一般社団法人 日本健康食品規格協会第 7 回定期総会を学士會館にて開催いたしました。参加企業数 51 社(出席 21 社・委任状 30 社、会員数 56 社)で総会成立数(3 分の 2)に達し、全議案が可決・承認されましたことをご報告いたします。尚、平成 28 年度の重点目標は「JIHFS GMP 規範の改訂」です。

また、引き続き行われた記念講演会には、120 名を超す参加者があり、タイムリーな話題を熱心に聴講していただきました。

< 記念講演 >

1. 「食品の用途特許の新たな審査基準と業界への影響」

東京理科大学 イノベーション研究科 教授 浅見節子先生

本年 4 月から解禁された「食品の用途特許」の内容と申請についてお話していただきました。講演後の質疑応答も活発にあり、参加者の特許に対する興味の深さを感じられました。



浅見節子先生

2. 「機能性表示食品制度におけるシステマティック・レビューの現状と課題」

東京農業大学大学院 農学研究科環境共生学専攻 教授 上岡洋晴先生

昨年 10 月 27 日までに届出された機能性表示食品の SR 118 件を対象に、重複を除いた 49 編について「AMSTER」チェックリスト 11 項目を用いて、「SR の SR」による研究の質評価についての結果をお話されました。



上岡洋晴先生

< アンケート集計 > 各講演に対するアンケート結果を以下にお示しします。

| | 大変役に 立った | 難し かった | 感想 |
|------|-------------|-----------|---|
| 講演 1 | 94% | 6% | <ul style="list-style-type: none"> 食品の用途特許のしくみを理解することが出来た。 食品の用途特許が何故今まで認められなかったか、これからなぜ重要になるか、非常にわかりやすく理解できた。 食品企業の開発意欲が今後更に拡大する根拠を確認できた。 |
| 講演 2 | 73% | 27% | <ul style="list-style-type: none"> 今後の SR 実施の指標として大変参考になった。 新制度の課題が明確になった。 SR を専門家が評価することは大切だと考える。今後もこの制度を検証してほしい。 |



記念講演会の様子

< 懇親会の様子 >



JIHFS 池田理事長
ご挨拶



昭和薬科大学 研究員
JIHFS 顧問
佐竹元吉先生



東京大学名誉教授
細谷憲政先生



(一財)医療経済研究・
社会保険福祉協会
常務理事 本田清隆氏



NPO 日本健康食品評価
認証機構
副理事長 志賀道夫氏



人間総合科学大学 保健医療学部
学部長 JIHFS 顧問
橋詰直孝先生
乾杯のご発声の後、懇親会にて
交流を深めました。



(一社)健康食品産業協議会
会長 関口洋一氏



菓業健康食品研究会
会長 吉岡一彦氏



健康と食品懇話会
会長 原孝博氏



(一社)日本栄養評議会
会長 白杵孝一氏



㈱渡辺オイスター研究所 社長
渡辺 貢理事による中締め



懇親会には約 80 名が参加されました。

